



2025 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 コージンバイオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 中村 孝人
 (コード：177A 東証グロース市場)
問合せ先 専務取締役営業統括 中村 雄一
 (TEL 03-5459-1575)

Steminent Biotherapeutics Inc. (台湾) との協業合意に関するお知らせ

コージンバイオ株式会社（本社：埼玉県坂戸市、代表取締役社長：中村 孝人）は、Steminent Biotherapeutics Inc.（本社：Taipei City、Chair：Ling-Mei Wang）と国際細胞治療産業チェーンの構築にむけた協業の合意をいたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

なお、当該協業合意に伴う当社業績に与える影響は軽微であります。

2025 年 7 月 30 日

各 位

コージンバイオ株式会社

Steminent Biotherapeutics Inc.（台湾）との協業合意に関するお知らせ

コージンバイオ株式会社（東京証券取引所 証券コード：177A、以下「コージンバイオ」といいます）は本日、台湾の Steminent Biotherapeutics Inc.（上場市場：台湾 Emerging Stock Board、証券コード：7729、以下「Steminent 社」といいます）と協業に関する覚書（MOU）を締結し、既存およびカスタマイズ無血清培地を対象とした共同開発プロジェクトを開始することを発表しました。本協業により、両社は細胞治療製造プロセスにおける技術革新を推進し、国際的な細胞治療産業チェーンの構築を目指します。なお、協業の内容につきましては、以下のとおりであります。

【高規格な培地プラットフォームの共同開発】

本プロジェクトの第1段階では、コージンバイオが開発・製造する既存の無血清培地を基盤に、臨床グレードの細胞治療製造ニーズに対応する高規格な細胞培養技術プラットフォームを構築します。これにより、バッチ間のばらつきを低減し、臨床および商業生産における一貫性と品質管理を確保し、さらに国際的な再生医療および細胞治療製品に関する規制基準への適合も図ります。

【今回の提携の意義】

本提携は、台湾の Purple Win Co., Ltd. を通じた日台三者協力により実現しました。Steminent 社の董事長兼総経理 王玲美氏は、次のようにコメントしています。

「安定した培地サプライチェーンは、当社の細胞製造能力の向上、プロセス開発力の強化、そして開発コストの効率的削減に大きく貢献します。当社の幹細胞製品 Stemchymal®が PIC/S GMP 基準を満たした上で製品最適化を行うことが可能となり、製品のコンプライアンスを確保できます。さらに、薬事承認後には迅速に臨床および商業的な需要に応えることで、細胞治療を待ち望む患者の切実なニーズに応えることができます。」

また王氏は、次のようにも述べています。

「今回の協力はプロセスのアップグレードを推進するだけでなく、当社が国際ライセンスネットワークを拡大し、国際的な細胞治療産業チェーンを統合するための重要な一歩です。日台の強みを融合し、グローバル多施設臨床試験および商業量産のニーズを継続的にサポートし、細胞治療市場における競争優位性を確立します。今後も両社は協力を深化させ、さまざまな細胞治療アプリケーション向けのカスタマイズ培地を開発し、グローバルな細胞治療産業における協業機会を積極的に拡大していきます。」

本合意をもとに、コージンバイオはグローバルでの事業展開を加速してまいります。

コージンバイオについて

コージンバイオ株式会社は、1981 年 4 月に設立し、細胞培養用培地や体外診断用医薬品、細菌検査用培地の製造販売、細胞加工の受託を中心に事業展開を行っております。近年ではグローバルで再生医療の市場が急速に拡大しており、細胞の培養に使用される培養液の研究開発に注力するとともに、国内外で再生医療分野でのさらなる事業拡大に取り組んでおります。



* <https://kohjin-bio.jp>

<お問合せ先>

・コージンバイオ株式会社

TEL 03-5459-1575

E-mail y.nakamura@kohjin-bio.co.jp